

愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～とは

全国の高齢者人口が最大となる2040年頃の将来像を見据え、本県の現状と課題の認識とともに、これから中期的に取り組むべき課題と施策の方向性を県民の皆様と共有するため、「第六次愛媛県長期計画」の後継となる本県の最上位計画として、令和5年6月に「愛媛県総合計画～未来につなぐえひめチャレンジプラン～」を策定しました。

基本理念：愛のくに 愛顔あふれる愛媛県

※「愛顔」とは、どのような困難も克服する前向きな気持ちと思いやりの心が結集した、愛のある笑顔のことです。いかなる困難が眼前にあっても、それを跳ね返す強い意思を持つことの尊さと、自分が一人ではないことに気付くことで県民に芽生えた新たな価値観からすばらしい愛顔が生まれ、一つの愛顔が新たな愛顔を育み、やがては、県下一円にその輪が力強く、大きく広がっていくことを願っています。

また、「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」は、心の充足と物質的な充足が調和した愛媛ならではの幸せのかたちを見つけ、創ることができる愛媛を実現していくとの意味が込められています。



《目指すべき愛媛の将来像》

若者をはじめ、県民誰もが自らの希望を実現でき、安全・安心で豊かな人生を送れる持続可能な愛媛県

※超高齢社会の到来に伴い、地域経済は縮小し、医療・介護提供体制、地域交通などの社会インフラの不足、地域の祭り・伝統文化の継承や地域の見守り、防災・防犯などの担い手不足による影響が懸念されます。

来るべき2040年の超高齢社会においても、地域経済・社会資本の維持・適正化を図りながら、若者だけでなく、愛媛に住む人全てが、安全・安心で豊かな人生を送ってほしい、そんな思いから、標記の目指すべき愛媛の将来像を定めました。

計画策定の趣旨

- 「第六次長期計画」の成果（移住者の増加・営業本部による実需の創出など）が現れた一方、人口減少・超少子高齢化により、**人材の確保・公共サービス維持等の課題**が顕在化
- 本県の目指すべき将来像**を描きながら、地域課題を解消しつつ、**地域のオリジナリティや新たな強みへ転換し、持続可能な地域社会を実現**

計画期間

令和5(2023)年度から
令和8(2026)年度までの
4年間

計画の役割

本県を取り巻く内外の情勢が激しくなる中、**本県の課題を的確に捉え、将来の目指すべき姿に向けて、これから進むべき道筋を示すもの**

推進姿勢

～愛顔づくりへの“挑戦”～

創造

政策と戦略の“創造”に向けた新しい行政運営

協働

様々な主体と連携して取り組む“協働”

改革

行政運営の適正化に向けた不断の“改革”

〔6つの視点による現状と課題〕

- ① **人口減少と人口構造の変化**
 - ・人口減少、超少子高齢化は全国より深刻 ・移住者増など地方への関心の高まり
- ② **ライフスタイル・価値観の多様化**
 - ・平均寿命の延伸による人生100年時代を健康に過ごすための暮らしの充実
 - ・ダイバーシティの尊重 ・予測困難な社会を生き抜くための人材を育成する教育の推進
- ③ **経済のグローバル化等の影響と県内経済の将来展望**
 - ・少子高齢化・若者の転出超過による労働力人口の減少
 - ・県民所得向上に向け、労働生産性の向上による経済成長の達成
- ④ **増大するリスクに対処する体制づくり**
 - ・未知なる感染症へのリスクヘッジ
 - ・南海トラフ地震や頻発化・激甚化する豪雨災害などの大規模災害への対応
 - ・交通事故や犯罪等に対処し、安心して暮らせる社会の再構築
- ⑤ **デジタル化の進展**
 - ・デジタル技術活用の浸透 ・DXの推進とデジタル人材の確保
- ⑥ **環境問題の深刻化**
 - ・カーボンニュートラルの実現 ・環境への負荷が少ない循環型社会の構築 ・自然環境の保全・継承



〔県民の視点〕

県民の視点を把握するため、2,000人アンケート調査・中高生アンケート調査等を実施

基本理念・目指すべき将来像

愛媛づくりの方向性

【人】次世代を育み、誰もが活躍できる愛媛県

- 人を惹きつける住み続けたい愛媛づくり
- 誰もが健康で豊かな生活を送ることができる愛媛づくり
- 子どもたちのたくましい成長を支える教育立県えひめの実現

【経済】“稼ぐ力”を高め、県民所得が向上した愛媛県

- 地域の稼ぐ力と県民所得の向上
- 交流人口拡大による国内外からの活力の取り込み

【暮らし】安全・安心で快適に暮らせる持続可能な愛媛県

- 誰もが安心して暮らせる社会づくり
- 地域の都市機能の維持・最適化
- リスクから県民の命を守る安全・安心な生活基盤の充実
- 環境を守り自然と共生する社会の実現



県民の視点について

県民参加の視点から、以下のとおり様々な方にアンケートを実施し、現在抱える地域課題や改善点などの意見を頂いたほか、大学生との意見交換会を開催し、次代を担う若者と県職員とが対話することで、本県の将来像に関する率直な考えを把握することができました。

- 将来世代（2040年に社会の担い手となる中高生）を対象としたアンケート
- 県民2,000人（18歳以上）アンケート
- 業界団体アンケート

愛媛県デジタル田園都市構想総合戦略としての位置付けについて

この計画は、愛媛県デジタル田園都市構想総合戦略として位置付け、これまでの地方創生の取り組みを活かしつつ、デジタルの力を活用しながら、人口減少をはじめとする諸課題の解決に取り組めます。